

発行 社会福祉法人 唐橋福祉会

編集兼発行人 理事長 下村 勉

OMソーラー 常に保育室を換気 想定外！ コロナ対策にも効果

当園が園舎の構造の中に組み込んでいる「OMソーラー」がコロナ対策に効果を発揮している。

冬季のOMは「屋上の集熱パネルに太陽熱を集め、空気を温める」→「温まった空気をファンで床下に送る」→「床下のコンクリート蓄熱層に熱を蓄え、同時に床を温める（床暖房）」→「温かい空気を部屋に放出する（部屋暖房）」という作業を繰り返す。この作業の過程で空気循環が継続される。通常、冬季は部屋を閉め切るが、OMによって空気の循環が絶え間なく行われる。

コロナ対策の一つとして、「部屋の換気」が強調されている。OMはまさにコロナ対策に効果を発揮している。知らず知らずの間に「換気」が行われているわけだ。

もともとOMソーラーは、「太陽熱」という自然エネルギーを、冬季は「暖房」、他季は「給湯」に活用するシステムである。ただ、暖房に十分な温度を確保することは難しく、「寒くない程度の温かさ、冷たくない程度の温かさ」に留まる。高島市の「さくら園」の改良型OMは、十分に暖かさを感じるものだったが、当園の場合、早朝や曇天・雨天の日などはエアコンとの併用が必要だ。

一方、太陽光発電は「太陽光」を電気エネルギーに変換するシステムである。当園は開園当初から二つのシステム（太陽光発電とOM）を導入することによって、地球環境保全への貢献をめざしてきた。まさにSDGsの先取りだが、OMは、「コロナ対策」という想定外のところでも効用があった。「環境にこだわり」、健康的な保育環境をめざす当園の原点に立ったシステムの効果と言える。

なお、新園舎の「さくら組」はOMが設置されていないので24時間換気設備が稼働している。

秋の大工事 まもなく終結へ

外壁工事 9月19日の着工から2か月余り、外壁、屋根、軒天、バルコニーなどの補修・塗り替え工事は天候に恵まれて、順調に進んだ。園舎を取り囲んでいた足場は3連休の間に全て撤去され、塗り替えられた外壁は素晴らしく鮮やかになった。「20年前よりも綺麗になった」との声もある。足場を覆っていた幕がなくなって、園舎内も明るくなった。残工事、追加工事がいくらかあるが、当初の予定より半月ほど早く、なんとか12月初めまでに終了する見込み。ホッ！

エアコン工事 11月20日からエアコンの総入れ替え工事が始まった。初日は**フロンガスの抜き取り**という地球環境保持にとって不可欠な重要工事が行われ、無事終了。21日からの3連休は室外機、室内機の取り換え工事が行われた。保育のない休日に限定した工事のため短期集中決戦。早朝より15人もの技術者や作業員が動員され、まず2台の巨大な室外機と26台の室内機取り換え作業が進められた。22日には、幼稚園の園庭に大クレーン車が入り、屋上の室外機2台（何れも1トンの重さ）を上空に吊り上げて交換が行われた。保育が行われる24～27日は工事を休み、28、29日に残工事を行い、29日午後に試運転を行う。

そして、30日(月)から能力アップした新しいエアコンで、寒波の襲来に備えることができる。